

学校だより みんなの森合小

～ 自分の考えをもつ力 人を大切にする力 自分を表現する力 チャレンジする力～

NO. 8

令和4年12月9日

発行者

森合小学校長 渡邊かほる

人権週間・人権デー～それぞれの違いを大切にすることを考える～

社会には、いじめや児童虐待、インターネット上の人権侵害、感染症や障がい等を理由とする偏見や差別など様々な人権問題が、存在しています。これは決して他人事ではありません。様々な人権問題を「誰か」の問題ではなく、自分の問題、身近な問題として捉え、互いの人権を尊重し合うことについて、考えを深めることが大切になります。11月末の全校集会では、子供たちに次のように話をしました。

人権週間 12月4日～10日 (12/10人権デー)

- 自分も友達も一人一人違うことを知り、それぞれの違いを大切にすることを考える1週間

人権とは

- 一人一人生まれた時からもっている「自分らしく生きる」権利。
- 生まれた時から「自分らしく生きてよいのです」となっていること

発揮したい力

人を大切にする力…自分や友達のよさを見つける。大切な約束「相手が嫌がることはしない。言わない」
自分を表現する力…自分から自分の言葉で自分らしく話したり、いろいろな方法で伝えたりする。

【大切な約束】
相手が嫌がることは
しない・
言わない

時々、子供たちが「死ね」「キモイ」などの言葉を口にするのを耳にします。相手を傷つける言葉という認識が、あまりないようで、簡単に発してしまうようです。ゲームやSNSなど子供を取り巻く環境が一つの要因と考えています。教職員も保護者も「大人の責任」「大人が手本」という自覚をもち、子供たちに接していきたいです。

<生活科・総合的な学習の時間>

～身近な地域で、地域の方々とかかわりながら、気付き・探究する～

森合小学校の子供たちは、生活科や総合的な学習の時間に、森合地区の地域の方々にかかわりながら学んでいます。解のない時代、人と協動的に取り組み、納得解を見つけていく力、知識・理解だけでなく活用する力、探究する力が、求められています。まさに、今求められる力を発揮する時間として、学校全体で取り組んでいます。

(二年生)



【町探検でインタビュー】

(四年生)



【地域の自然について講話】

お願い…学校評価

「みんなの森合小」

保護者の皆様に、今年度グランドデザインに基づく学校運営についての評価をお願いいたします。森合小学校は、地域の大切な学校として、子供たちと教職員だけでなく、保護者や地域の皆様とともに創る学校と捉えています。これまでの主な学校の様子は、HPに掲載していますので、ご覧ください。



QRコード



感染予防＝マスク着用について＝

新型コロナウイルス感染は、第8波が懸念されているところですが、文科省や福島市教育委員会からは、適切な換気や手指の消毒の他に「給食時の会話」「場面に応じたマスク着脱」など、マスク着用に関する通知が出されました。マスク着用については感染予防の他に、ストレスや健康への影響も指摘されています。これらのことから、本校では、感染予防だけでなく、ストレスや健康への影響も考え、通達等に基づいて配慮しながら進めていきます。一番大事にしたいことは、マスクの着脱による差別や偏見がない言動ができる子供や大人の姿を目指していくことです。ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。